

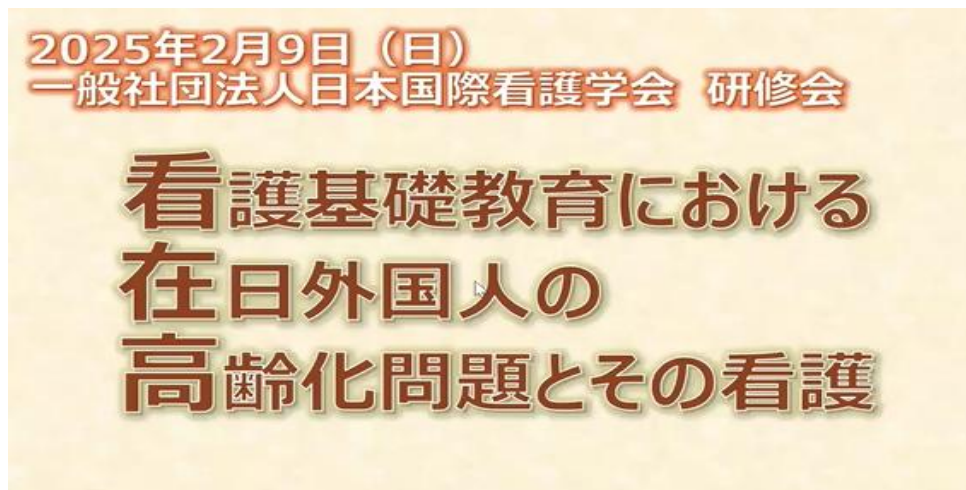
2024年度 西日本研修会 報告書

2024年度西日本研修会では、在日外国人の高齢化問題と、それに対応した看護基礎教育の効果的な授業展開について考える機会が提供されました。

研修会では、講師の経験をもとに、在日外国人の高齢化問題とその対応について詳細な講義が行われました。また、講師による丁寧な質疑応答の時間も設けられ、参加者の満足度が非常に高い研修となりました。

研修会テーマ	看護基礎教育における在日外国人の高齢化問題とその看護
講師	関西医科大学看護学部 教授 李錦純 先生
開催日時	2025年2月9日(日) 13:00~16:00
定員	申込数 15名 (対面受講者 5名)、スタッフ2名
研修方法	Zoomによるオンラインとオンデマンド配信 講義 150分、ディスカッション 30分

<研修会の様子>



<アンケート結果> (講演 5 名、グループワーク 4 名、全体 5 名から回答を得た)

第 1 部 講演「看護基礎教育における在日外国人の高齢化問題とその看護」について 講義について

- ①「講演のテーマは適切でしたか」 5/5 (100.0%) 非常に適切
- ②「講演の内容は満足いただけましたか」 5/5 (100.0%) 非常に満足
- ③「内容に対しての総時間は適切でしたか？」 3/5 (60.0%) が適切、2/5 (40.0%) が長すぎる。
- ④「進め方や情報量はいかがでしたか？」
 - ・ バランスが良かった
 - ・ 講義とディスカッションの時間があり良かったです。
 - ・ 時間のバランスが良かったと思います。
 - ・ 適度であった

第 2 部 グループディスカッション 「語り合おう！在日外国人の高齢化」について

- ①「グループワークとしてのテーマは適切でしたか」
2/5 (40.%) が非常に適切、1/5 (20.0%) が適切、2/5 (40.%) が普通、
 - ②「グループワークとしての総時間は適切でしたか？」
4/4 (100%) が普通
 - ③「グループワークで満足なディスカッションができたと思いますか」
1/4 (25.0%) があまり満足しない、1/4 (25.0%) が普通、2/4 (50.0%) が満足
- 全体を通して、学びとなったことはどのようなことですか？(5 件の回答)
- ・ 地域で日本人と同様、在日外国人も守っていくためには、日本人と在日外国人が双方で価値観の理解を深めていく必要があるが、世代や常識の違いの差は大きい。
 - ・ 在日外国人についていろいろと情報を得ることができ、臨床に活かせるのではないかと感じました。
 - ・ 在日外国人の高齢化の現状やそれに関連した問題の実際を知ることができとても良かったです。
 - ・ 住民票について李先生からお話を聞き、住民基本台帳になってから変化したことを初めて知りました。権利という意味でも政府の政策の変化から感じることができました。
 - ・ 教科書に出ていない問題点やトピックを知ることができた
- 今回の研修の内容を活用できそうですか？ (5 件の回答)
- 2/5 (40.%) が活用できる、3/5 (60.0%) が非常に活用できる
- どのように活用していこうと考えているか教えてください。5 件の回答
- ・ 国際看護学の授業、自身の研究
 - ・ 在日 2～3 世になると文化のハイブリット化が発生するため、看護師の対応の柔軟性が必要だと感じた。
 - ・ 講義の内容に含めていきたいと思います。また、個人的には地元の在日外国人の高齢化にする現状をよく理解できていないことを強く感じました。その把握から始めたいです。
 - ・ 国際看護の講義に役立てたいと思っています。3 月で今の看護学校を退職し別の大学に転職するため、次の職場で国際看護を担当するかは不明なのですが。
 - ・ 看護基礎教育における国際看護学の講義 臨床で外国人患者やその家族に対応する時